

学校保健委員会だより

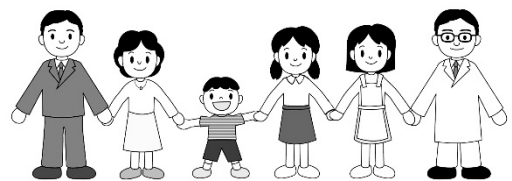
令和6年2月14日
長崎市立大浦小学校
学校保健委員会 事務局

第2回学校保健委員会を1月31日(水)13:10～大浦小学校多目的室で開催しました。
参加していただいた学校医・学校薬剤師の先生方、PTA 役員及びPTA 保健体育委員の皆様、ありがとうございました。

最初に学校保健委員会 中本会長(PTA 会長)から「メディアについては、親も一緒に取り組む必要性を感じています。今日の学校保健委員会が、私たちの生活のヒントに、そして保護者の学びになればと思います。」とのあいさつをいただきました。

今年度のテーマ

「すすんで健康な心と体をつくろうとする子どもを育てる。」



(今年度の具体的な取組)

6月21日(水) 5・6年児童 保護者講演会

「子どもを取り巻くメディアとの上手な付き合い方」

長崎県メディア安全指導員 大町 俊介 氏

児童や保護者に感想を記入してもらい「学校保健委員会だよりで報告」

・学校での取組として、全学年対象に「生活リズム！歯みがきカレンダー」と「メディアコントロールチャレンジ」を実施。

【次年度のテーマと活動内容】

テーマ「すすんで健康な心と体をつくろうとする子どもを育てる。」

取組「生活リズムを見直そう！！～メディアとの上手な付き合い方～」



- ・6月にメディア講演会を実施する。5・6年生は継続して実施。次年度は中学年(3・4年生)の実施も検討。
- ・保護者を対象とした講演会については、実施時期や実施方法、内容など保護者の方のご意見を伺いながら検討していきたい。
- ・生活リズムやメディアの使用についてなどクローズドブックを活用してのアンケートを検討している。学習においても児童生徒1人1台端末の時代になっています。家庭でもテレビはもちろんのこと、ゲーム機やタブレット、スマホなどを使用してのチャットやメールのやり取りなど、「子どもたちは様々な経験を重ねています。繰り返し話を聞くことで、子どもたちには、自分の生活や使用法を見直してほしいと思っています。また、保護者の方も講演会を機会に生活リズムやメディアの使用についてのルール作りや見直しをしていただければと思います。お忙しい中ですが、次年度も講演会へたくさんの保護者の方のご参加をお願いします。

参加していただいた保護者の方からも意見をいただきました。

- ・メディア講演会は、高学年だけでなく低学年から幅広く実施してほしい。
- ・性教育も取り入れてほしい。また、忙しくて足を運べない保護者も講演会を見られるように YouTube 配信をするのはどうか。
- ・講演会の時期は、今年度同様、長期休暇前でよいと思う。メディアの面で健康を考えることから関連するのだが、外で遊ぶ大切さを子どもたちに伝えたい。地域の公園では、野球やサッカーが禁止されていたり、自治会により、遊ぶ場所や内容が限られている状況がある。そういったことから、講演会は、地域の人を巻き込むべきだと思う。



参加していただいた学校医 永野先生 学校薬剤師 立石先生から指導助言をいただきました。

学校医 永野先生より

今年のインフルエンザの流行は例年と違い、同じ家庭内にインフルエンザとコロナウイルス感染症の患者さんが混在しているケースもあり、症状からは、普通の風邪か感染症かの診断を付けづらいことがある。ウイルス感染症は、他にもいろいろあるが、治療薬がないものや検査をした結果、溶連菌(+)と出ても保菌しているだけで悪さをしている直接の原因ではないこともある。私自身、検査は必要最低限にしたいと考えている点をご理解いただきたい。また、サージカルマスクは、感染予防に非常に役に立つことが欧米の論文でも発表されていた。

学校薬剤師 立石先生より

最近の感染状況としては、インフルエンザはB型が主流になっており、1か月早い流行となっている。コロナウイルス感染症も徐々に増えており、1シーズンに2~3回、型違いのインフルエンザにり患する人もいる。最近、種類によっては非常に品薄になっている薬もあり、特に抗生剤が足りていない。この状況は、まだ1年以上続きそうなので、薬を使用せず健康で過ごせるよう、感染予防に努めてほしい。(換気、手洗い・の励行、マスクの着用は自由ではあるが推奨。)



中尾校長あいさつより

本日いただいた専門的な助言を学校生活で生かしていきたい。また、本日の学校保健委員会で聞いたこと、協議したことは、学級懇談会等でほかの保護者の皆様にもぜひ共有してほしい。学校、家庭、地域、専門家の連携を図り、子どもたちの健全な成長をサポートしていきたい。